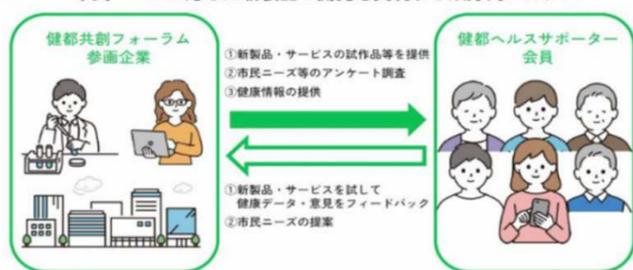


2024年上半期『健都ヘルスサポーター』制度

健都ヘルスサポーター募集中!

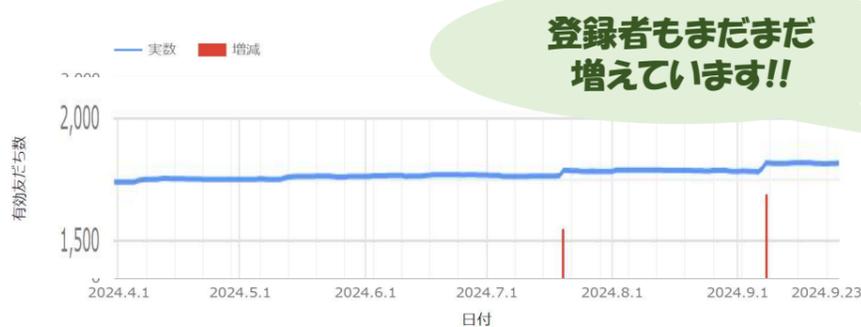
健都ヘルスサポーターとは市民の声を健康・医療に関する新製品・サービスの開発と連携させる双方向システムとして、2022（令和4）年3月19日に始動した仕組みです。

みんなの声で技術をカタチに
市民ニーズに応じた新製品の開発を実現する双方向システム



「健都ヘルスサポーター」LINE公式アカウントについて

LINE公式アカウントで「友だち」追加し、「会員規約」に同意することで会員登録できます。登録後は、新しい健康製品・サービスについての実証試験案内・参加申込み情報、健康関連イベントや学術情報の配信、関連するイベント・アクションや実証試験への参加でポイントの獲得、あるいは、新しい健康製品・サービスのへの意見発信なども可能です。



有効数 (追加総数)

2024年3月31日	1740 (2053)
2024年9月30日	1819 (2202)
	+79 (+149)

実施された各イベント会場でも健都ヘルスサポーター登録促進活動をしました

スポーツ

第2回 健都リレーマラソン (ランナー募集終了)

「健都レールサイド公園」にてリレーマラソンを開催。2時間制で走順・人数は自由。併催ファミリーファンランは1周の1kmのみ、お子様とご一緒に!

2024年5月12日(日) スタート時間: 10:00 (2時間リレーマラソン) / 9:15 (ファミリーファンラン)

<https://suisa-marathon.com/>

会場: 健都レールサイド公園 (スタート場所)



スポーツ

ガンバ大阪摂津市民応援デー

【事前申込】2024年7月19日(金)まで

摂津市民限定で、小中高生は無料招待、大人はチケット30%割引でお得に観戦いただけます!

<<< 申込みはチラシのQRコードから >>>

※先着順のため、無くなり次第終了となります。

場外の摂津市ブースにて、健都ヘルスサポーター会員の皆様にポイントが付与します。当日会員登録もOK!ぜひ、お運びください!

2024年7月20日(土) 午後7時キックオフ

会場: パナソニックスタジアム吹田



講座

第20回日本疲労学会総会・学術集会 市民公開講座 「脳科学からみる疲れをためないライフスタイル」

講師: 片岡 洋祐 先生

(神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 特命教授/日本疲労学会 副理事長)

2024年6月16日(日) 16:00~17:00 (受付開始15:00 / 開場15:30) ※事前申込制・参加無料

<https://20jfsf.jp/phr.org/open-lecture/>

会場: 帝国ホテル大阪 3階 孔雀東の間



講座

すいた健康サポーター養成講座「今日からできる!フレイル予防と身体活動・運動」

すいた健康サポーターとは、健康づくりについて学び、ご自身の健康を守るだけでなく、ご家族や地域の健康づくりを支える「健康インフルエンサー」です。今回の講座ではフレイル予防と対策、身体活動・運動について教わります。

対象: 過去にすいた健康サポーターに登録されていない方 (先着100名)
⇒ 申込は吹田市ウェブサイトへ

2024年8月2日(金) 14時~16時

<https://www.city.suita.osaka.jp/kenko/1018600/1018636/1018641/1034784.html>

会場: メイシアター



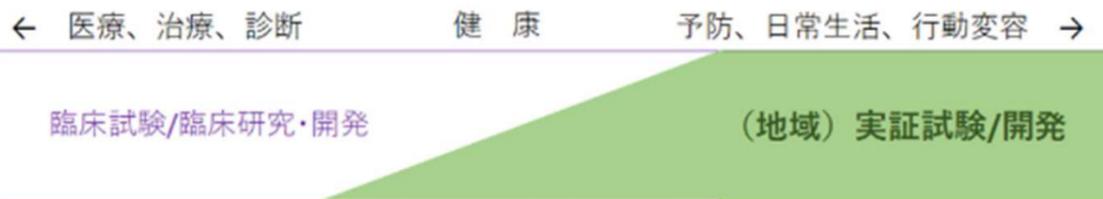
2024年上半期『実証事業』実施状況について

上半期の実証事業相談件数：25件 [9月26日現在]
 (実際の取り組み：2件 実施済)

地域実証プロジェクト

【実証プロジェクト/実証事業とは】

実地に適用可能な段階にある健康・医療に関わる技術・システム・制度などを試験し、その有効性や経済性などを確認・検証/実証すること



なぜ地域の皆様に参加・参画いただいて実証・検証する必要があるのか？

健康、休養、栄養、運動など、ヘルスケア・健康科学や生活科学分野の製品・サービスについては、研究や開発段階で、実験動物、細胞、モデル実験系などで、効果や安全性などが充分検討されていますが

これら製品やサービスを利用・活用するのは**“人”**！

安全性などが充分確認された上で、実際に人が使用・体験することにより、本当に役に立つものなのか？、充分な有用性があるものなのか？などを確認・実証する段階が、実用化し、健康生活に実装するために必須と考えられています。

【実施の様子】

- ① 「サンスター株式会社」：「パタカ選手権」オーラルフレイルチェック
- ② 「株式会社Kokorotics」：スマホアプリを使用した歩行速度計測
 (2024年9月7、8日開催「第41回みんなの健康展」健都共創推進機構ブース等にて実施)



①

市民の皆様ご協力
 ありがとうございました



②



『健都ポータルサイト』からの情報発信



トップページ：<https://co-creation.ken-to.jp/>

一般向けページ：<https://co-creation.ken-to.jp/citizen/>

健康まちづくり
産学官民共創

NEW 2024年9月13日 みんなの健康展 (9/7-8) 報告【集積機関】

みんなの健康展 (9/7-8) 報告【集積機関】

「第41回みんなの健康展」が、9月7日(土)・8日(日)にメインアター(吹田市文化会館)で開催されました。「高血圧と慢性腎臓病」に関する講演、各種団体によるブース展示・催しのほか、むし歯予防ポスター・作文表彰式、消防音楽隊演奏や映画上映、キッズダンスなどが披露され、全体で1,400名を超える参加者を数えたようです。「健都共創推進機構」のブースでは、「健都」の取り組みの紹介や、「健都ヘルスサポーター」制度についてご案内し、多数の新規ご登録もいただきました。また、共同出展機関による実証検証として、口腔機能をチェックする「パタカ選手権」(サンスター㈱)や、スマホアプリを用いた「歩行速度計測」(㈱Kokorotics)などを実施し、2日間で600名超のご来場となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



イベントに参加しよう

体験

「健都万博」先行イベント 2024

【ヘルスケア関連の革新的技術・サービスの展示・体験に係る展示】

・開催日時：2024年11月17日(日) 10時～16時

(例年開催している「健都フェス」の1プログラムとしての展示を予定)

・会場：国立循環器病研究センター 周辺/内(予定)

2024年11月17日(日)

<https://osaka-hio.jp/kento/kento-exo/>

会場：国立循環器病研究センター

体験

国立循環器病研究センター院内レストラン「かるしお®認定ランチ」販売開始

国産の院内レストラン「B'EASE(ピース)」にて、「かるしお®認定」を取得した減塩ランチの販売が始まります。1食あたりの塩分を2g以下に抑えた健康とおいしさを両立したメニューをお楽しみいただけるようです。

https://www.soso-medical.go.jp/ia/news/news-20240711_01/main/00/teaser/items/0/Link/PR-20240711_01.pdf

会場：国立循環器病研究センター院内レストラン

体験

大阪大学「生誕1000日見守りプロジェクト」研究参加者募集中

妊娠前から出産を経て子どもが2歳を迎えるまでの1000日間の「子育て」を支援する技術の研究を実施

現在の環境・気持ちなどについて、最大6回のアンケートにLINEからお答えいただくことで研究参加！

・20歳以上の、妊娠中もしくは、0～1歳(赤ちゃんが2歳の誕生日まで)のお子さまを育児中の産後ママ

妊婦さんの健康支援につながる研究・育児環境の研究に、みなさまのご参加を待たれています！

～2028年03月31日

<https://1000days.suou.or.jp/>

会場：

[発信例]

イベント一覧へ

[旬のトピックス] 13件 (16回) 発信

[イベント] 19件発信

- 一般のお問い合わせ >
- 研究開発や事業開発に関する問い合わせ >
- 地域実証/実証検討やリビングラボに関する問い合わせ >
- 視察希望や取材等に関するお問い合わせ >
- 北大阪健康医療都市(健都)に関するお問い合わせ >

[お問合せ] 15件対応
[実証事業相談] 25件対応
[視察・見学] 5件対応



北大阪健康医療都市「健都」を視察

令和6年8月1日、国際ヘルスケアのオープンイノベーション(産学連携共同研究の場)を体感できました。

Knowledge(正確な知識、知の集積)
Exercise(適度な運動)
Nutrition(適切な栄養・食事)
TOWN(まちづくり)

循環器病の予防に必要なこれら4つの頭文字(KENTO)から愛称がついた「健都」。また私が学生だった頃(約30年前)吹田市と摂津市の間にJR岸辺駅には広大な操車場がありました。この跡地に国立循環器病研究センター、医薬基盤・国立健康・栄養研究所、市立吹田市民病院が移転し、世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点になりました。多くの市民がLINEアプリで「健都ヘルスケアサポーター」となり、最新の実証事業に双方方向で参加しています。みんなの声をカタチにするこの方法を杉並区の駅前再開発のまちづくりや、参加型の取り組みにも活用すべきと考えます。

※杉並区議会議員鈴木ちづる様より許可を得て引用

